

アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ(改変aad-1, Zea mays subsp.mays(L.) Ittis.)
(DAS40278, OECD UI:DAS-40278-9)の隔離ほ場における生物多様性影響評価試験
(栽培実験期間:平成22年度)

確認項目		確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、隔離距離によらない交雑防止措置(除雄あるいは袋がけ)を行っています。
	○選定場所について	本栽培実験では、隔離距離によらない交雑防止措置により実施していますので本措置は必要がないことを確認しました。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について	本栽培実験では、本措置を講じる必要がないことを確認しました。
	○モニタリング措置について	本栽培実験では、本措置を講じる必要がないことを確認しました。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験種子を袋、密閉容器に入れ管理し、混入及びこぼれ落ち防止を行ったことを確認いたしました。 また、実験区画に防鳥ネットを種子播種日の平成22年6月2日から6月17日まで設置し、野鳥等の食害による拡散防止を行ったことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	実験区画で作業に使用した機械等を、実験区画外に搬出の際は払い落とし及び洗浄を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	袋がけした雄穂を密閉容器に入れこぼれ落ちを防止し、実験区画から所内の分析室に搬出。分析後はオートクレーブにて不活化処理を行ったことを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	播種後間引きした植物体については、ほ場内に設置された堆肥場にて不活化処理を行ったことを確認しました。 栽培実験終了後の植物体については、地上部は平成23年1月5日にほ場内の堆肥場にて不活化処理、地下部は1月26日にほ場の実験区画内に鋤込みして不活化処理を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	後作を行わないので必要がないことを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	計画書が平成22年4月23日に公表されたことを確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成22年5月20日に開催されたことを確認しました。また、情報提供のフォローアップについても適切に対応していたことを確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について6件の情報がホームページに掲載されていることを確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	本栽培実験での栽培及び処理の終了について、平成23年3月23日にホームページに掲載されたことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。



図. 非遺伝子組換えトウモロコシと除雄された遺伝子組換えトウモロコシ
(8月31日撮影)